

菊池 久光 議員 小中学生の体力向上対策について

質問(菊池久光議員)

市民一人一スポーツを掲げ、スポーツ振興及び市民の体力づくりを図っていますが、市内小中学校の児童生徒たちの体力向上についてはどのような取り組みを行っているのか伺います。

答弁(教育長)

体力は、人間の発達、成長を支え、人が知恵を磨き、知力を働かせて活動していくために必要不可欠なものであり、まさに生きる力の極めて重要な要素となるものと考えています。

市内の各小中学校は、体育の授



企業誘致が望まれる中田原工業団地

業の充実はもちろん、朝の始業前、業間、昼休み、放課後等を利用して、縄跳びや長距離走を取り入れたり、運動部活動の充実を図るなどして子供たちの体力づくりを行っています。

また、本市教育委員会としても、児童生徒の体力向上については重点課題と捉え、平成15年度より毎年体力づくりの研究学校を指定し、研究の成果を広く市内の各学校に公開しています。さらに、その公開に併せて各学校に全国体力調査の結果を知らせるとともに、課題となっている項目に

滝田 一郎 議員 企業誘致について

質問(滝田一郎議員)

市内誘致企業の現状と企業誘致対策について伺います。

答弁(市長)

市内には野崎、野崎第二、中田原、品川台の4つの工業団地のほか、黒羽地区における農村地域工業等導入促進法に基づき整備された4つの小規模工業団地があり、それらを中心にして現在46社が誘致企業として操業しています。このほかに、誘致企業ではありましたが、社屋を建設しながら未操業である企業

や操業を中止している企業、撤退あるいは撤退予定の企業など、それぞれの経営状況により操業が必ずしも良好に行われていない企業も若干存在しています。

次に、誘致企業対策としては、大田原市医療福祉産業都市構想などを踏まえて、誘致企業に対する優遇措置を盛り込んだ大田原市企業誘致条例を制定するとともに、分譲中の工業団地の所有者であります栃木県土地開発公社との連携、情報交換を

密にししながら企業誘致に取り組んできました。現在分譲中の工業団地は、中田原工業団地で3区画97ヘクタール、品川台工業団地で3区画71ヘクタールです。本市としても、これらの分譲完了を目指して平成26年度に商工観光課内に企業立地担当を新設するとともに、全庁的に企業誘致対策に取り組みべく、市長、副市長、まちづくり企画監及び関係部課長で構成する大田原市産業集積戦略会議を設置し、企業誘致を積極的に展開したいと考えています。

ついて強化を図るよう指導しているところです。

なお、本市の研究指定校は平成23年度は佐良土小学校、平成24年度が石上小学校、平成25年度は宇田川小学校の3校であり、いずれも体力向上の取り組みが顕著な学校に県教育委員会より送られるとちぎ元気キッズ学校奨励賞を受賞しています。今後も体力向上について本市の研究を継続するとともに、先進的な取り組みをしている学校や自治体の研究や県、国の指導資料等を参考に、さらなる充実を図っていききたいと考えています。



平成 25 年にとちぎ元気キッズ学校奨励賞を受賞した宇田川小学校